

事務事業評価資料

施策名	県民の参画と協働の推進		所管課班	議会事務局 調査課 図書室 図書・広報班					
事業名	ひょうご県議会だより発行費(昭和51年度～)		連絡先	078-362-3720(直通)					
事業目的	県議会の活動等を紹介した広報紙を制作し、定期的に広く県民に配布することにより、県民の県議会活動に対する関心と理解の高揚を図る。								
事業内容	県議会広報紙「県議会だより」の発行 ○内容 定例会の概要、代表・一般質問の概要など ○発行回数 年4回定例会ごとに発行 ○配付方法 地域により新聞折り込み又はポスティング								
事業に要するコスト	区 分		25年度決算額		26年度当初予算額		27年度当初予算額		
	事業費①		57,132千円		59,760千円		59,760千円		
	財源内訳	国庫支出金	0千円		0千円		0千円		
		県債	0千円		0千円		0千円		
		その他()	0千円		0千円		0千円		
		一般財源	57,132千円		59,760千円		59,760千円		
	人件費②		従事人員	0.8人	従事人員	0.8人	従事人員	0.8人	
		6,318千円		6,330千円		6,349千円			
総コスト(①+②)		従事人員	0.8人	従事人員	0.8人	従事人員	0.8人		
		63,450千円		66,090千円		66,109千円			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	目 標		25年度実績	26年度見込み	27年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H25	H26	H27
	「県議会だより」に対する意見【はがき枚数】	2,445枚	H30	2,326枚 (27千円)	2,350枚 (28千円)	2,374枚 (28千円)	95.1%	96.1%	97.1%
ホームページアクセス件数【トップページ】	150,888件	H30	143,255件 (441円)	145,000件 (456円)	146,450件 (451円)	94.9%	96.1%	97.1%	
自己評価	事業の必要性・有効性	県民に開かれた県議会として、議会の活動状況等をできるだけ多くの県民に知ってもらい、より親しみやすい県議会として県民との結びつきを一層深め、県政と県議会に対する県民の理解と関心を高める必要がある。 また、広報紙を各戸配布や新聞折込することにより、各定例会の審議内容を県民に広く周知でき、県民の県議会活動への理解促進に大きな役割を果たしている。また、インターネットの普及が進む一方で、高齢者など紙媒体のみで情報を得ている県民もまだまだ多く、広報物を各戸へ直接届けることは広く県民に広報する手段としては最も有効である。							
	事業コストに対する評価、見直し状況	一般競争入札により委託業者を決定しており、業者間競争による経費の節減を図っている。							
	目標の達成度に対する評価、今後の見通し	シルバー人材センターによる手配り世帯の増加や、紙面においてホームページなどの他の媒体などを案内することにより、はがきによる意見数やホームページのアクセス件数はそれぞれの相乗効果によって増加しており、効率的な広報効果を上げている。							
実施方針	方向性	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 実施手法の見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 凍結(休止) <input type="checkbox"/> 延長 <input type="checkbox"/> 終期設定							
	説明	県民に開かれたより親しみやすい県議会として、県議会活動に対する県民の理解と関心を高めるため、引き続き県民に対する県議会の広報は必要なことから、他の広報媒体との効果的・効率的な運用にも努めながら、事業を継続していく。							